

図書館へ行こう！

淡窓図書館 ☎ 2497 ID 82

新刊紹介

今と未来がわかる
生成AI進化と活用
中村俊也・小田紘久／著
株式会社ナツメ社／出版社



現在のAIは飛躍的な進化を遂げている。そんな基本的なAIの原理と現在の生成AIで使われている技術のことをわかりやすくビジュアルに解説。現在のビジネスパートナーになりつつある生成AIの便利な活用方法を具体的に紹介する。



児童コーナー

えいごのおはなし会

7月4日(土) 午前10時から

8月1日(土) 午前10時から

おいでよ！おはなし会

7月11日(土) 午後3時から

25日(土) 午前11時から



開館時間(日曜日、祝日は午後6時まで)
午前9時～午後7時



夏休みイベント 7月24日(金)～8月11日(祝)



●夏休みの宿題 おたすけコーナー

自由研究や読書感想文などの夏休みの宿題に役に立つ本を展示します。工作の本を1冊借りたら、工作キットをプレゼント！(なくなり次第終了)

●ゆら～りゆらり 切り絵で夏のモビールを作ろう

涼しげな切り絵でモビールを作って、涼を感じよう！

□とき 8月2日(日)午前10時～正午

□募集期間 7月7日(火)から(定員に達し次第締切)

□募集人数 5人(小学校4年生以上)

□ところ 淡窓図書館2階 研修室

●めぐる！海の生き物としょかん(閉館1時間前まで)

生き物の本を含めて5冊以上借りて、魚釣りゲームに挑戦しよう！釣った魚に書かれたクイズに正解すると、景品がもらえます。

●「図書館でゲーム!?」ワイワイ楽しもう！

スマートフォンを置いて、新しい、楽しい、ボードゲームをやってみませんか。

□とき 7月26日(日)・8月9日(日)

※両日とも①午前10時 ②午前10時50分から

□募集期間 7月7日(火)から

□募集人数 先着48人(6人2チーム制、計4回)

□対象 4歳以上(小学校3年生以下は保護者同伴)

□ところ 淡窓図書館2階 研修室

休館日(休日と重なる場合は翌平日)
毎週月曜日、第4木曜日、12月29日～1月4日

手話で話そう

今月の手話⑤

「今度、遊びに行きます」

動画も公開しています。
一緒にやってみましょう！



今回の紹介者は、日田市で活躍されている手話通訳士です。

今度	遊び	行きます
顔の横に立てた右手を前に出します。	立てた両手の人差し指を顔の横で交互に前後に動かします。	下に向けた右手の人差し指を前に出します。

※手話表現は、地域や年代で多少異なる場合があります。

☎福祉支援課障害福祉係 ☎ 8290(市役所1階)



知ろう！ 文化財

vol.4

世界的トップクラスで活火山が多い日本。大きな噴火は、ときに周辺の地形をも変化させます。なかでも巨大と言われているのが、約9万年前に発生した阿蘇山の噴火。なんと、その痕跡が日田市にも残っているんです。

☎文化財課文化財管理係 ☎ 7171(市役所別館2階)

小野川の阿蘇4火砕流堆積物及び埋没樹木群



今から約9万年前に発生した、阿蘇山の4回目の巨大噴火。過去3回の噴火に比べて規模が大きく、噴煙は遠く北海道北部まで、火砕流は九州のほぼ全域を埋め尽くしたうえ、山口県萩市まで到達したとされています。

日田市では火砕流が小野川に到達し、火砕流によってなぎ倒された樹木化石と火砕流堆積物が良好に残存していることが、平成20年と22年の発掘調査によって明らかとなりました。

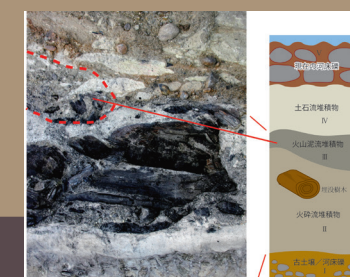
発掘調査が行われた現地はできる限りの保存対策がとられ、現地の様子を直接見ることはできませんが、日田市立博物館で小野川から引き上げられた埋没樹木を見ることができます。(日田市埋蔵文化財センターにも一部展示しています)

地層の堆積状況

平成20年と22年の発掘調査で確認された地層は、上から次のような堆積状況を示しています。

- V層 現在の小野川の河床
- IV層 土石流堆積層
- III層 火災泥流堆積層
- II層 阿蘇4火砕流堆積物層
- I層 旧小野川の河床礫及び古土壌

※ 大量の埋没樹木群は、II層上部に含まれます。



▲地層断面と模式図



▲発掘された埋没樹木群

埋没樹木群

阿蘇山4回目の巨大噴火の堆積物は「阿蘇4火砕流堆積物」と呼ばれています。この堆積物からは、その圧力によって形が大きく変形した13種類の樹木が確認され、火砕流の衝撃のすさまじさを知ることができます。

《針葉樹》

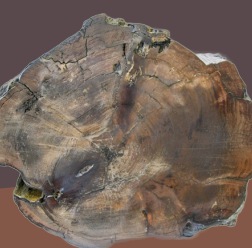
ヒノキ科、トウヒ属、スギ

《広葉樹》

オニグルミ、ブナ属、ニレ属、モクレン属、サクラ属、カエデ属、アサガラ属、トネリコ属、アサダ、コナラ節

樹齢の想定は、ヒノキ科が1,000年以上、トウヒ属が400年以上、スギが300年以上。樹木の大半は、表面が黒く炭化しており、炭化の軽いものから、全体が硬く化石化したものまで確認されています。

火砕流以前の森林構成は、縄文杉や紀元杉が育成している屋久島(鹿児島県)の森林景観に似ていたと考えられています。



▲ヒノキ科の輪切り



▲発見された埋没樹木(スギ)



▲発見された埋没樹木(ヒノキ)



▲火砕流の衝撃で変形したヒノキ科